

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興		
施策のねらい (めざす姿)	スポーツをする市民が増え、一人ひとりが健康で明るい生活を送っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	笠井 真利子

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	更なるスポーツ施設の拡充と施設への有料広告の募集を積極的に行う。	③改革・改善内容	さらなるスポーツ環境の向上を図るため、陸上競技場及び東初富テニスコートの大規模改修を実施する。
②①に基づく取り組み結果	新たなスポーツ施設として「中沢多目的グラウンド」を整備した。有料広告については、ホームページにて募集を行い、1件の応募があった。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及びスポーツ施設	意図(対象をどうするのか)	スポーツ施設の大規模改修を行うことで、市民の利用が増加している。また、スポーツ団体への切れ目のない支援により、スポーツの振興が図られている。
②施策の概要	スポーツ施設の大規模改修や、スポーツ団体への支援により本市のスポーツ・レクリエーションの振興を図る。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	現在、鎌ヶ谷市の陸上競技場は老朽化が進むとともに、陸上競技連盟の公認が無いため、中学生の陸上記録会などは他市で行われていることから、陸上競技場改修の要望は高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	平成28年度に、新たなスポーツ施設として「中沢多目的グラウンド」の整備や、東野少年野球場の防球ネット及びトイレの改修工事、陸上競技場の実施設計を実施した。有料広告については、ホームページにて募集を行い、1件の応募があった。また、北海道日本ハムファイターズや、スポーツ団体との協働で軽スポーツや、市民大会などのスポーツイベントを実施した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	1年間継続してスポーツをしている市民割合(市民意識調査)	%	—	—	—	25.0
	ii	余暇時間にスポーツを行っている市民割合(市民意識調査)	%	—	—	—	15.0
	iii						
③基本事業成果指標	i	スポーツイベント・教室参加者数	人	12,058	15,279	15,880	15,500
	ii	体育協会登録団体数	団体	26	26	27	増加
	iii	スポーツ施設利用者数	人	316,141	335,547	330,019	340,000
	iv						
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)	平成29年度予算			
事業費(千円)	142,533	160,437	(単位:円)	1,470	円	120,983	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	さらなるスポーツ環境の向上を図るためには、老朽化が進むスポーツ施設の計画的な補修が必要である。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	スポーツ施設の整備・改修はすべて計画通り実施し、スポーツ施設の有料広告についても応募があったが、今後、応募件数を増やすために周知方法を検討する余地がある。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	陸上競技場改修事業		
④上記方向性の説明	陸上競技場の老朽化が進むとともに、陸上競技連盟の公認が無いため、中学生の陸上記録会などが他市で行われていることから、陸上競技場の改修が急務である。		